



各 位

令和2年5月8日

会社名 ニプロ株式会社
代表者名 代表取締役社長 佐野 嘉彦
(コード番号 8086 東証第1部)

問合せ先 常務取締役経営企画本部長 余語 岳仁
(TEL 06-6372-2331)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、令和2年2月6日に公表した令和2年3月期の業績予想を修正することとしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 令和2年3月期連結業績予想数値の修正 (平成31年4月1日～令和2年3月31日)

(単位 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	444,800	25,800	22,100	12,200	74円80銭
今回修正予想(B)	442,500	26,400	23,400	△12,300	△75円40銭
増減額(B-A)	△2,300	600	1,300	△24,500	—
増減率(%)	△0.5	2.3	5.8	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成31年3月期)	426,399	23,827	22,431	12,136	73円68銭

2. 修正の理由

令和2年3月31日に公表のとおり、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響による株式市況の悪化により、当社の保有する投資有価証券の時価が、取得価額に比べて著しく下落した事実をうけ減損処理による投資有価証券評価損 298億77百万円を計上いたします。また同様に、新型コロナウイルスの影響を鑑みて将来計画を見直した結果、一部の連結子会社の業績予想の悪化等の理由により、のれんおよび固定資産の減損処理損失を56億円計上いたします。

本業の業績につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大により、特に第4四半期には受診自粛や外来診療抑制、新規採用の見送り等の自粛・抑制の影響から売上が伸長せず公表予想に対して若干の未達となりました。一方で、利益面におきましては、透析関連製品を中心に順調に販売が増加したことに加え、

為替の影響も想定より限定的であったこと、さらには ROE を基準とする業績連動賞与の変動による影響もあり、営業利益、経常利益は前回予想を上回る見通しとなっております。しかしながら株式市況の悪化による影響は如何ともし難く、上記の特別損失の影響額が多額となったうえに、繰延税金資産に対する評価性引当金の計上や一部の子会社業績評価の悪化にかかる少数株主持分損益の影響などもあり、親会社株主に帰属する当期純損失は△123 億円で着地する見通しとなっております。

上記の予想は、本資料の発表日現在における事業環境において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上